

# 進路だより —それぞれの夢に向かって—

微笑む進路 MUHS 進路指導部

第6号

15. 2. 18

進路だよりはイチゴの日

## 今年度の主な学校行事・進路関係 (2/18 ~ 3/14)

B週	18日(水)	高校入試願書受付(～19日)
	19日(木)	合同職員会議
	20日(金)	2年教員進路研修会
	21日(土)	土曜授業日
	22日(日)	
A週	23日(月)	高校入試志願先変更(～24日) 2年合同総合 1年人権学習(7,8)
	24日(火)	1年教員進路研修会
	25日(水)	予餞会リハーサル
	26日(木)	予餞会リハーサル
	27日(金)	予餞会(1～3) 大掃除 入試会場作成
	28日(土)	休業日
3月	1日(日)	
B週	2日(月)	入試学力検査(臨時休業)
	3日(火)	採点(臨時休業)
	4日(水)	採点(臨時休業)
	5日(木)	午前授業(①～④) 3年登校日
	6日(金)	学年末考査①
	7日(土)	休業日
	8日(日)	
	9日(月)	高校入試選考会議(臨時休業)
	10日(火)	学年末考査② 入学許可候補者発表
	11日(水)	学年末考査③ 第4回保護者進路セミナー(14:00～視ホール)
	12日(木)	学年末考査④
	13日(金)	3年(1～3卒業式予行、4大掃除) 1、2年(1～3答案返し 13時～予行 14時～大掃除)
	14日(土)	卒業式(10:00～)

## 平成26年度(現3年生)指定校推薦大学入試合格校一覧

1) 首都大学東京	都市教養	都市教養(経営学系)
2) 早稲田大学	文化構想	
3) "	文	
4) "	商	
5) "	人間科学	健康福祉科学
6) "	創造理工	経営システム工
7) "	先進理工	応用化学
8) "	基幹理工	学系Ⅱ
9) 立教大学	法	政治
10) "	文	文
11) "	コミュニティー福祉	スポーツウェルネス
12) 明治大学	経営	
13) 青山学院大学	総合文化政策	総合文化政策
14) "	経営	経営
15) 東京家政大学	家政	栄養(管理栄養士専攻)

## 平成26年度(現3年生)国公立大学公募・AO推薦入試合格校一覧

1) 東京学芸大学	教育	初等(家庭)
2) 埼玉県立大学	保健医療福祉	理学療法
3) "	保健医療福祉	健康開発(検査技術科学)
4) "	保健医療福祉	作業療法

## 平成26年度(現3年生)私立大学公募・AO等推薦入試合格校一覧

1) 慶應義塾大学	文	人文社会
2) 早稲田大学	創造理工	建築
3) 立教大学	経営	国際経営
4) 法政大学	グローバル教養	グローバル教養
5) 国際基督教大学	教養	アーツ・サイエンス
6) 東京家政大学	家政	栄養(管理栄養士専攻)
7) 國學院大学	文	中国文
8) 獨協大学	国際教養	言語文化
9) 星薬科大学	薬	薬
10) 明治薬科大学	薬	薬
11) 帝京科学大学	生命環境	アニマルサイエンス
12) 日本獣医生命科学大学	獣医	獣医保健看護

※ 併願可の推薦を含みます

## ○今年度のセンター試験動向（河合塾の分析から）

### ●受験者数は昨年並み

2015年度センター試験の志願者数は559,132人（昨年560,672人：前年比99.7%）、と大きな変化はありませんでした。

しかし、現役志願者数は、18歳人口の増加から、昨年の443,318人から455,392人と12,074人増加（前年比102.7%）しました（大学入試センター発表）。一方、既卒生志願者数は、昨年の111,914人から98,728人と13,186人減少（前年比88.2%）しました。

### ●センター試験の平均点

大学入試センターが発表した各科目別の平均点は下記のとおりです。  
（理科は得点調整済）

国語	119.22	物理基礎	31.52
世界史B	65.64	化学基礎	35.30
日本史B	62.01	生物基礎	26.66
地理B	58.59	地学基礎	26.99
現社	58.99	物理	64.31
倫理	53.39	化学	62.50
政経	54.79	生物	54.99
倫理政経	59.57	地学	40.91
数ⅠA	61.27	英語	116.17
数ⅡB	39.31	リスニング	35.39

### ●科目ごとの状況（英語、国語、社会）

英語は、前年並みの難易度となりました。

国語は、過去最低の平均点となった昨年から大幅に上昇しました。

地歴Bは軒並みダウンしました。特に、理系生の受験が多い「地理B」は11点のダウンとなりました。

### ●新課程科目（数学、理科）の状況

新教育課程からの出題となった数学と理科は、出題内容が注目を集めました。

「数学Ⅰ・数学A」は、課程の移行に伴い全問必須から、数学Aの各分野が選択問題の構成へと変化しました。新たな出題分野となった「データの分析」の問題では、ヒストグラム、四分位数、箱ひげ図などが扱われましたが、問題文が長く、計算よりも読解力や図を読み解く力が求められました。「数学Ⅱ・数学B」は、計算量の増加、複数分野の知識を要求する問いなどが多く、難化しました。

「基礎を付した科目」の理科①は、いずれの科目も教科書の各分野からバランスよく出題されました。平均点は「物理基礎」「化学基礎」は高めとなりましたが、選択

肢が複雑だった「生物基礎」や、時間を要する内容であった「地学基礎」は低めとなりました。理科①は2科目必須であるため、科目の組み合わせによって明暗が分かれる状況となりました。

「基礎を付さない科目」の理科②は、昨年までのⅠ科目から出題範囲が広がったこと、それに伴って選択問題が出題されることが注目されました。各科目とも大問数が増加し、最後の2問が選択問題という構成でした。いずれの科目も広い範囲から万遍なく出題されました。従来であれば国公立大の2次試験や、私立大入試にしか出題されなかった内容も出題されました。「生物」を除く科目では、旧課程履修者用の科目との共通問題も多く出題されました。「生物」は、問題のページ数や図表の数が多く、詳細な知識が必要な設問もあり、難易度は高く平均点は50点（調整前）と低くなりました。

※理科②で「生物」「物理Ⅰ」の平均点差が20点以上開いたため、17年ぶりに得点調整が実施されました。

### ●理科の得点調整について

1月23日、大学入試センターがセンター試験の得点調整の実施を発表しました。今回、旧課程の「物理Ⅰ」と新課程の「生物」の平均点差が大きかったことから、「物理」「化学」「生物」「化学Ⅰ」「生物Ⅰ」受験者に対して加点措置がとられました。

### 得点調整による受験生への影響

「物理」「化学」「生物」「化学Ⅰ」「生物Ⅰ」受験者は最大8点加点されました。

「物理Ⅰ」受験者の得点は変わりません（減点されることはありません）。

「地学」は受験者数が1万人未満と少なかったため調整の対象にはなりません。

「理科」の各科目間の平均点差はゼロにはならず、15点の差が残ります。

（各科目の得点換算表は、大学入試センターのホームページに掲載されています。）

判定基準が変わった募集単位があります。

「物理」「化学」「生物」「化学Ⅰ」「生物Ⅰ」受験者の得点の上昇を受けて、コンパス（ベネッセの判定システム）やバンザイ（河合塾の判定システム）の合格可能性判定基準（A判定、B判定などに必要なセンター得点）が上昇した募集単位があります。

（例）東京海洋大・海洋科学・全学科（後期）、お茶の水女子大・理・生（後期）  
埼玉県立大・保健医療・検査技術（後期）等は15点アップしました。

### 【3月11日(水)は第4回保護者対象進路セミナーです。】

講師として、ベネッセで実際に大学の受験状況を分析している方をお迎えし、現在進行中の現3年生の入試における状況も踏まえながら進路指導部の教員と今年度の入試動向を振り返ります。参加申し込み受付中です。ふるってご参加下さい。